

がんばろう
末崎!

津波なんかに
負けない!

館報まっさき

第267号
平成29年2月20日
大船渡市立
末崎地区公民館
電話 (F兼) 29-2955

末崎町の防潮堤の進捗状況

末崎町の防潮堤工事等の進捗状況や完成までのスケジュールについて、県や市の担当部局に出向いて聞いた。

1. 細浦湾口防潮堤について (担当部局は県大船渡水産振興センター漁港復旧課)

2. 防潮堤の地質は、これまで調査の結果、上層部は硬い岩盤にさらには砂地になっていない。さらにはその下には硬い岩盤になっている。このため、防潮堤の基礎を固く、その下の砂地を掘り除く。このため、防潮堤の基礎を固く、その下の砂地を掘り除く。

3. 防潮堤の基礎を固く、その下の砂地を掘り除く。

4. 防潮堤の基礎を固く、その下の砂地を掘り除く。

5. 防潮堤の基礎を固く、その下の砂地を掘り除く。

6. 防潮堤の基礎を固く、その下の砂地を掘り除く。

末崎の風土散策 (56)

～愛唱歌「末崎の四季」「末崎めぐり」について～

その4

初めてドレミ (1. 2. 3) の略符横開きの文部省唱歌の教科書で、視唱させられて視唱法へと転換させられたのであった。子供達からもたいへん慕われている。



大木初太郎先生
と娘さん

小細浦の山岸家 (菅原宏一氏) 所有のピアノ (当時近隣になく価格約千円といわれた) を借用し、学校に運んで音楽会などを開き盛んに勉強した時代であった。先生の奥様もバイオリンを弾き時折教員住宅から夫婦合奏の美しいメロディーが流れて、心暖まる美しさに羨ましく何ともいわれない情景であり子供ながらに心引かれる思いだったと記されている。

大正12年6月末崎小学校に勤務して2年2ヶ月の大木先生は釜石実科高等女学校に転勤することになり同年6月18日午後1時から校内送別音楽会が開かれ、惜しまれながら釜石に赴任されたのであった。(この学校は後に釜石女学校となり、昭和38年には岩手県立釜石南高等学校と改称されている) その後、大正14年7月4日末崎小学校高等科生徒67名、教師8名による釜石修学旅行が行われた。細浦港棧橋から発動機船で午前8時30分発軍艦「日進」に乗船し、釜石まで海路の旅であった。艦上では軍楽隊の勇壮な吹奏楽に夢心地に酔い、また砲術操作訓練では、大きな砲筒が頭上すれすれまで下がったり、左右自在に旋回され肝を潰す思いだったという。やがてゆっくり釜石港に接岸したら大木先生が手を振りながらニコニコ顔で出迎えられ、皆びっくりし、驚きと懐かしさでいっぱいだったという。その後先生は生徒とともに釜石町内を案内されている。生徒達は釜石で1泊し、翌日汽船で全員無事帰校している。大木初太郎先生には奥様の「としめ」との間に、子供が1男、2女あり。長女「てるこ」さんは東京葛飾に在住。長男「眞一」さんは岩手県立聾学校長や岩手県立図書館長を勤められたが故人となっている。「末崎の四季」「末崎めぐり」は大正時代に作られており、今後年代を経るにつれ、忘却の彼方薄れてゆくことであろうが、私の父母が生前、臆げな記憶を辿りながら話した事などを併せて書き留めたものである。(聖)

★第10回末崎町民 ひな祭り

主催 大船渡市立中央公民館
末崎地区公民館

協力 末崎町婦人会
食生活改善推進連絡協議会
人形劇『おてだま』
茶道教室『滝田』

期日 平成29年2月26日(日)

場所 ふるさとセンター

時間 午前9時～12時

内容 ☆おひなさま鑑賞
☆お茶会
☆人形劇グループ
『おてだま』による
人形劇やマジック等公演
☆おやつ

*気楽に会場へ来てください。



を得なければならぬことや設計、入札、業者決定等に時間がかかり、かつ人手不足等考えることやむを得ない。県、市とも住民が安全で安心して暮らせる環境づくりを思うと頭が下がる、感謝申し上げたい。

★「草月流生け花」 教室開催

日時 4月12日(水) 10時～12時
4月26日(水) 10時～12時

会場 ふるさとセンター
2階会議室

主催 末崎地区公民館

講師 鈴木隆子氏

持ち物 花器・花ハサミ・剣山・水切りボール・タオル・ゴミ袋・新聞紙

費用 花材代は実費となりますが、講習料は無料です。

連絡先 鈴木隆子氏 電話 29-13473
みなさまご自由にご参加下さい。

*花材の準備がありますので、3月31日(金)までに連絡をお願い致します。

★いやしの集い

期日 3月11日(土)
3月25日(土)

時間 13時～16時

会場 ふるさとセンター

※裁縫道具をお持ちください。
「みなさまご自由にご参加下さい」

